

竹原市民生産業委員会

令和3年2月22日開議

会議に付する事件

(付託案件)

- 1 請受第3-1号 新型コロナウイルス感染症拡大に対する支援等の請願

(令和3年2月22日)

出席委員

氏 名	出 欠
竹 橋 和 彦	出 席
下 垣 内 和 春	出 席
宇 野 武 則	出 席
吉 田 基	出 席
宮 原 忠 行	出 席
堀 越 賢 二	出 席
山 元 経 穂	出 席

委員外議員出席者

氏 名
井 上 美 津 子
今 田 佳 男
川 本 円

職務のため会議に出席した者は、下記のとおりである

議会事務局長 住 田 昭 徳

議会事務局係長 矢 口 尚 士

説明のため会議に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名
議 員	松 本 進

午前10時14分 開議

委員長（竹橋和彦君） ただいまの出席委員は7名であります。定足数に達しておりますので、令和3年第1回定例会の民生産業委員会を開会いたします。

本日、当委員会に付託を受けております案件は、付託議案一覧表に記載のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

請受第3-1号新型コロナウイルス感染症拡大に対する支援等の請願を議題とします。

本請願は、松本議員が紹介議員となっております。

本会議規則第142条第1項の規定により、松本議員から紹介議員として説明を求めたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（竹橋和彦君） 異議なしと認め、そのように執り行います。

松本議員、発言席に着席をお願いいたします。

紹介議員の説明を求めます。

松本議員。

議員（松本 進君） それでは、新型コロナ感染症拡大に対する支援等の請願内容について御説明申し上げます。

先ほど本会議でも申し上げましたけれども、新型コロナウイルスによる感染症、この収束自体が見えておりません。しかし、県内では新規感染者の減少傾向が続いております。しかしながら、感染症対策への引き続き防止対策、これが求められております。

こういった中で、飲食業の竹原市内の飲食店の方々も様々な感染拡大防止対策に取り組まれておりますけれども、お客さんが減少する中で、お店の収入は大幅に減少しております。年末、また今年新たに1月ということについても大幅な減少をしております。コロナ前とコロナ後の収入の一例を申し上げますと、12月で見ると、コロナ前と昨年12月の売上げを見ると60%大幅に減少しているという事例も伺いました。

こういった中で、経費もかかるわけでありますから、人件費についてはいろいろやっぱり努力されて節減もされているようでありますけれども、家賃や水道光熱費、カラオケ等音響機器のこういった固定経費がかかるということで、大幅な売上げの減少の中で固定経費がかかるということで、こういった状況が続けば、本当にお店の経営を続けていくことそのものが大変困難な状況にもなるということで、何とかこの4項目について支援をして

いただきたいということで、家賃の支援や休業、時短の支援等々、4項目の願いをしております。こういったことをぜひ竹原市でも意思決定を御採択いただいて、この実現に御協力をお願いしたいということで紹介議員の説明とさせていただきます。

委員長（竹橋和彦君） ありがとうございます。

これより質疑を行います。

質疑のある方は、順次挙手により一問一答でお願いいたします。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（竹橋和彦君） それでは、委員間討議に入りますので、紹介議員及び傍聴の方は退席をお願いいたします。

それでは、委員間討議を始めます。

本請願について御意見等ありましたら御発言をお願いします。

宮原委員。

委員（宮原忠行君） 先般、島根県の丸山知事が、こうした地方経済が非常に深刻な状況に対して、聖火ランナー、感染状況を見て、1か月の間の様子を見て検討するという意見表明したのよね。それで、現実問題として、緊急事態宣言を受けているところも受けていないところも、実態として特に飲食はやはり変わらないのよね。というのは、それぞれテレビ、新聞等を通してその日の感染状況等をしていくから、やはりそれに皆同じように、言葉がいいかどうか悪いかわからないけど、その自粛の空気というのが感染してから、本来なら竹原などは、私は自粛することもなかったと思う、広島県知事がやったときもね。それがやはり消費者心理というのを冷え込ませているわけよね。

それで、今、さはさりながら、どこまでできるのだろうかというのがあるよね。それで、予算書を見ると、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金というのがあるのよね。これは来年、予算のときでもまた議論になる思うけれども、4,480万7,000円出ているわけよね。ところが、これは県の場合はもう3年4年、その県税の減収が見込まれるということで、財政調整基金もゼロにしたよね。そして、予算を組んでいるから、なかなか難しいのかも分からないが、今議会に出されている補正予算の12号を見ても、9,789万5,000円の増額補正なのよね、約1億円ですよ。

そうすると、やはりこの本当に必要なもの、例えば生活をしていくのに必要最小限度の保障というかね、そうしたところは何とか財源的には、私はできるのではないかと思うの

よね。もちろん当初予算でなくて、それを組替えというわけにはいかないだろうけれども、例えば臨時議会を開いて、そこら辺の対応できる財政的な余力は、私はあると思うのよね。やはりこういったときに、我々が、また市長を含んだ政治的に選出された人間がどういうふうにして市民の生活を保障していくかということも、やっぱり大きな責務だろうと思うわけよね。

それでそういう観点で、またこれではちょっとよく分からないのだけどね、必要最小限、本当に何を望んでいるのかというのを一遍精査をして、今度は関係者も入っていただいて、そしてその中で最低限これだけはしないとイケないだろうということを精査の上で、例えば臨時議会等を要求して、補正の編成を促すというような対応を検討したらどうかと思います。

以上です。

委員長（竹橋和彦君） ほかに御意見はありませんか。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 今、宮原委員が言ったように、4項目の内容、ちょっと精査しないとイケないというところがあるので、これは人も含めてどこまでできるのか。それから、県のほうの税金の問題も文言であるから、そこらは県だからね、そこらの整理もちょっと要るのかなというような思いがあるんで、やっぱりもうちょっと人も含めて、できるものならやっぱり速やかにやるということをお願いしておきます。

委員長（竹橋和彦君） 宮原委員、宇野委員とも同じような意見ではありますけれども、臨時議会でもう一度理事者も含めて検討するほうがいいのか、今日すぐ採決したほうがいいのか、いかがでしょう。

委員（宮原忠行君） 私が言うのは、そうじゃなくて、これはだから採決を採るのよ。これを採決する上で、私の考えとして、それは採択をして、そしてその上で本会議で今度は予算特も出てくるのだから、それはそれとして処理をして、今定例会が終結後、直ちに委員会を開いて、そしてその委員会で何とか担当事務も来ていただくような議論、検討を、政策のね、その議論をする場を設けて、それで委員会としてある程度の目鼻が立った段階で議長に対して本会議の要求をして、そして臨時議会に対応していくということではいかがでしょうかということでございます。

以上です。

委員長（竹橋和彦君） 分かりました。

それでは、そのように図っていきたいと思いますので、皆さんよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（竹橋和彦君） 暫時休憩。

午前10時26分 休憩

午前10時28分 再開

委員長（竹橋和彦君） 休憩を閉じて会議を開きます。

請受第3-1号新型コロナウイルス感染症拡大に対する支援等の請願について、これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（竹橋和彦君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

なお、採択に賛成のない方は不採択とみなします。

本請願について採択することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長（竹橋和彦君） ありがとうございます。

起立全員であります。よって、本請願は採択することに決しました。

当委員会に付託されました議案は全て議了いたしました。

この際、お諮りいたします。

ただいま議決いたしました本委員会の付託案件に対する委員会報告書につきましては、本日の議決結果を報告することといたします。また、本会議での委員長報告の内容につきましては委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（竹橋和彦君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決しました。

また、あわせて議決事件の字句等の読み間違いについては、後刻、委員長において調整いたしますので、御了承願います。

以上をもって民生産業委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午前10時30分 閉会